

2025年度 町田市スポーツ推進計画19-28後期アクションプラン進捗状況(主な実施事業)

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
1-1-1	「まちとも」等と連携した放課後のスポーツ推進			「まちとも」等と連携が可能な地域スポーツクラブを把握するため、ヒアリングを行ったところ、連携が可能で連携を希望するクラブが数か所あることが確認できた。しかし、2025年度内には、まちとも等への具体的なアプローチができず、目標値の達成には至らなかった。地域スポーツクラブとまちとも等とを繋げるため、今後、調整を行っていく。
	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが地域と連携子ども向けに機会提供した地区数	6地区	3地区	
1-1-4	トップアスリートとの交流機会の創出			昨年度の実施状況を参考に、オリンピック出場経験者によるイベント、体験会など需要が高い事業を中心に実施した。トップアスリート等と交流することにより、参加した子どもたちが、その種目に一層興味を持つ姿を確認することができた。今後も、積極的にトップアスリート等との交流機会を創出するとともに、ブラインドサッカーなど、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー事業についても、継続的に実施していく。
	トップアスリートとの年間交流回数	17回	25回	

(2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
1-2-1	従業員の健康増進のためにスポーツ活動の促進に取り組みたいと考える企業へのスポーツ情報等の提供			2025年度は、新たに、東京都と連携し、サン町田旭体育館のアリーナにて、市内の障がい者就労移行支援事業所の運動習慣定着活動を実施した。今後も、より多くの市内企業等がスポーツ推進を図れるよう、調整を進めていく。
	機会提供回数	2回	2回	

(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
1-3-2	温浴施設等を活用したスポーツ環境の充実			年間を通して、プールや多目的室等において、各種教室事業を行い、高齢者等のスポーツ推進を図るとともに、9月には、地域の仲間づくりや多世代交流の機会を創出するため、プール祭りを実施した。今後も、地域に根差した施設運営を行うことにより、スポーツ推進を図っていく。
	高齢者の方がより参加しやすい教室の実施	実施	実施	

(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
1-4-2	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催			パラバドミントン体験教室を通して、児童へのパラスポーツ理解促進を図るため、車いすでの段差の乗降や車いすリレーを取入れるとともに、バドミントンの体験時間も拡充した。また、原則1クラス2時間とすることで、教室1回あたりの実施内容の充実を図った。ブラインドサッカーの体験者からは、「体験を通じて、選手の凄さを実感した」、「目が見えないことの大変さがわかった」等の声もあり、パラスポーツの理解促進につながった。加えて、(公財)日本財団パラスポーツサポートセンターと連携・協力し、市内の小学校では初となる、「インクルーシブ運動会」を実施し、共生社会の実現に向けた、きっかけづくりに取り組んだ。今後も、スポーツを通じた共生社会の実現を目指して、日本パラバドミントン連盟や日本ブラインドサッカー協会等の関係団体と連携・協力し、各種取組を推進していく。
	年間参加者数	1,200人	781人	
1-4-4	障がい者スポーツ大会の開催			今年度の障がい者スポーツ大会では、競技内容を工夫し、2024年度に人気を集めたボッチャのコート数を増やし、多くの参加者が楽しめる環境を整えた。また、民生委員・児童委員が参加者と共に競技に参加する形式での大会運営を行った。さらに、FC町田ゼルビアのマスコットキャラクター「ゼルビー」や、ASVペスカドーラ町田のマスコットキャラクター「ドーらくん」の協力で、大会を一層盛り上げた。
	開催回数	1回	1回	

基本目標2 スポーツに関わる 人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
2-1-2	まちだサポーターズの活動機会の充実			2024年度と比べて、会員数が減少したことから、活動参加者数は約100人減少した。FC町田ゼルビアホームゲーム開催時の活動については、次シーズンに向け、活動の参加者を増やすため、クラブ担当者ともまちだサポーターズとの間で活動に関する課題等について意見交換会を実施した。 また、まちだサポーターズで企画したイベントや、保健所職員や東京都職員によるスキルアップ研修の開催など、新たな取組みが好評であった。 今後、まちだサポーターズの活動機会を増加させるため、庁内各部署に周知を行うとともに、活動意欲の維持・向上に向けた研修会を実施する等、活動参加者や会員の増加に取組んでいく。
	年間延べ活動参加者数	年 3,400人	年 2,521人	

(2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
2-2-1	地域スポーツクラブの活動支援と地域活動の推進			従前から事業を実施している地域スポーツクラブに加えて、新規の地域スポーツクラブにおいても、地域住民を対象にしたスポーツ推進を行うことができた。 今後も、地域イベントへの参加・協力を通じて、地域に根差した活動の定着を図っていくため、地域スポーツクラブや町内会自治会、小中学校等、双方におけるニーズの把握を進めていく。
	町内会自治会や小中学校等、地域コミュニティと連携したクラブ数	8クラブ	9クラブ	
2-2-3	まちだサポーターズの組織化			まちだサポーターズの自立化に向けた検討を行う、有志会員から構成される「総務班」の活動をとおり、会員の育成を図った。 引き続きまちだサポーターズと協働し、自主運営事業の支援やスキルアップ研修の実施等を通じて、人材の育成や組織としての活動の継続に進めていく。
	まちだサポーターズの育成に関するスキルアップ研修やミーティングの実施状況	実施	実施	

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
3-1-6	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大			昨年度に引き続き、新規の2団体とさらに具体的な調整を行い、1団体については、既存の事業の拡充について意見交換と検討を行った。 しかし、テスト利用に向けた詳細までは調整することができず、目標値の達成には至らなかった。 今後も、テスト利用、市民利用の開始に向け、申し込み方法等の具体的な事務手続きについても検討と調整を進めていく。
	連携団体数	新規2団体 テスト利用	新規2団体 調整	

(2) 「みる」スポーツ環境の充実

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
3-2-1	大規模大会等開催時のシティプロモーション			2022年度から継続して、町田市立総合体育館が試合会場となっている、「アクサブレイブカップ ブラインドサッカー 日本選手権FINALラウンド」において、日本ブラインドサッカー協会と連携し、ブラインドサッカー体験と試合観戦を組合わせた企画を実施した。 体験参加者からは、「体験を通じて、選手の凄さを実感した」、「目が見えないことの大変さがわかった」等の声もあり、バラスポーツの理解促進とともに、バラスポーツを通じた、シティプロモーションにもつながった。 今後も、大規模大会等開催の機会を捉え、シティプロモーションにつなげる事業を実施していく。
	-	実施	実施	
3-2-3	パブリックビューイング等の実施			パブリックビューイングについては、ホームタウンチーム独自の取り組みとして、FC町田ゼルビアが2025シーズン中に、南町田グランベリーパークや三輪緑山ベースのクラブハウス等で合計85回実施した。 また、町田市ゆかりのアスリートを応援するとともに、デフリンピックの気運醸成を目的として、町田駅ペDESTリアンデッキのデジタルサイネージを活用して、大会に出場する選手情報を放映した。 2025年度は、市内の各所において、FC町田ゼルビアが主体となり、パブリックビューイングを実施した。 今後も、ホームタウンチームや関係団体等と連携し、パブリックビューイングを含めた、「みる」スポーツ環境の充実を図っていく。
	-	実施	実施	

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり

(1) スポーツ情報の発信

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
4-1-2	ホームページやSNS等多様な媒体・手段を活用した運動動画等の情報発信			SNSを有効に活用することで、施設内の掲示やホームページ以外で、定期的に各種取り組みをPRすることができた。また、動画視聴だけでなく、教室やイベントの集客にもつながった。 今後も、より多くの市民がスポーツに関する情報を得られるよう、配信件数や投稿回数を増やすとともに、内容の充実を図っていく。
	運動関連動画等の発信数	60件	265件	

(2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
4-2-1	ホームタウンチームと連携したPR活動			町田駅を中心に、装飾物の設置等を行ったことで、市内・市外を問わず、多くの方の目に触れ、ホームタウンチームを知るとともに、応援機運の醸成に繋がった。 今後も、装飾物等の掲出内容の更新や、劣化による交換を適宜実施する必要があるため、ホームタウンチームと連携し、より効果的なPR活動につながるよう、検討・調整を進めていく。
	-	実施	実施	